

令和 3 年 度

専攻科 社会人特別選抜 学生募集要項



願書受付期間	令和3年2月24日（水）～3月1日（月）
試 験 日	令和3年3月11日（木）
合格発表日	令和3年3月17日（水）

独立行政法人国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Hachinohe College

〒039-1192 青森県八戸市大字田面木字上野平 16 番地 1

TEL(0178)27-7233

FAX(0178)27-9487

ホームページ <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

メールアドレス nyushi-o@hachinohe-ct.ac.jp

目 次

○ 八戸高専とは	1
○ 社会人特別選抜学生募集要項	
1. 募集人員及び選抜方法.....	2
2. 選 抜 日 程.....	2
3. 出 願 資 格.....	2
4. 出 願 手 続.....	2
5. 選 抜 の 方 法.....	3
6. 合格者の発表.....	4
7. 入学確約書の提出.....	4
8. 入 学 手 続 等.....	4
9. 学士の学位について.....	4
10. 身体等に障害を有する入学志願者の事前連絡.....	4
11. 個人情報の取り扱いについて.....	5
12. 入学時に要する経費(予定).....	5
13. 入学科・授業料の免除等及び奨学金制度.....	5
○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー	7
○ 試験場案内図	8

八 戸 高 専 と は

本校は、社会の多様な要請に応えるため、独自の教育目的を掲げ、創造力と開発能力を有する実践的技術者の育成に努めています。この実現のため本科1学科4コース・専攻科1専攻4コースを設置し、具体的に設定したディプロマ・ポリシーの達成を目指して教育活動を展開し、自己点検し、教育改善を進めています。

教育方針

豊かな教養の基盤の上に得意とする工学専門分野の知識と技術を身につけ、個人の自由と責任を自覚して規律を遵守し、自ら課題を発見しその解決に向けて自ら学ぶ姿勢を持ち、人類福祉の増進と社会の進展に積極的に貢献する創造力豊かな技術者を養成することを教育理念としています。

本科の工学基礎教育の上に専攻科の工学教育を通して、創造力と開発能力を兼ね備えた実践的技術者を育成します。

この目的を達成するため、「誠実・進取・協調」の校訓にのっとり、自立的な人材の育成に主眼をおきながら、ものづくり・システムづくりの専門技術教育を推進します。

○ 養成しようとする技術者像

本校が養成しようと考えている技術者像は、「多角的視野を持ちつつ、実験・測定技術、数理的手法および情報処理技術を基盤に、得意とする専門技術分野の基本的素養を持った、『ものづくり』や『システムづくり』に強い実践的・創造的な技術者」です。

○ ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー（後述、7頁参照）

アドミSSION・ポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 求める学生像

- AP 1. 社会における科学技術の重要性を理解し、その問題に関心を持つ人
- AP 2. 専門分野のみならず、他分野の基礎的知識をも習得して多角的視野を持とうとする人
- AP 3. 「ものづくり」に関心を持ち、創造力と開発能力を身につけようとする人
- AP 4. 地域の諸課題に関心を持ち、協働してその解決に取り組む意欲のある人
- AP 5. 国際社会に対応できる基礎的な言語能力を身につけ、多様な価値観を理解する意欲を有し、自らの見解を論ずる事のできる人

2. 入学者選抜の基本方針

社会人特別選抜

調査書、自己申告書及び面接試験の内容等を総合して選抜します。

専攻科課程の特徴

専攻科で学修し、学士（工学）の学位を取得又は同等の学力があると認められれば、大学院博士前期2年課程（通称、修士課程）に進学できます。大学院によっては、専攻科の成績により授業料免除等の特典を受けられます。

令和3年度専攻科社会人特別選抜学生募集要項

1. 募集人員及び選抜方法

専攻	コース	募集人員	入学定員	選抜方法・募集人員			
				推薦選抜	学力選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
産業システム工学専攻	機械システムデザインコース	7名	28名	入学定員の半数程度	入学定員の半数程度	若干名	若干名
	電気情報システム工学コース	7名					
	マテリアル・バイオ工学コース	7名					
	環境都市・建築デザインコース	7名					

2. 選抜日程

出願期間	試験期日	合格発表
令和3年2月24日(水) ～3月1日(月)	令和3年3月11日(木)	令和3年3月17日(水)

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、出願時において企業等の在職期間が1年以上ある者

- ① 高等専門学校を卒業した者
- ② 短期大学を卒業した者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- ④ 外国の学校において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑦ その他高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると専攻科において認められる者

4. 出願手続

(1) 願書受付

- ① 期 間 令和3年2月24日(水)から3月1日(月)まで
郵送の場合も、期間内必着とします。
(注) 郵送の場合は、必ず速達書留とし封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。
- ② 時 間 午前9時から午後4時まで

- ③ 場 所 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係
〒039-1192 八戸市大字田面木字上野平16番地1
TEL 0178-27-7233

(2) 出願書類等

入 学 願 書	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
写 真 票	出願前3ヵ月以内に撮影した正面向き、上半身・脱帽の写真（縦 6cm×横 4.5cm 判）を本校所定の用紙に貼付する。
受 験 票	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
調 査 書	本校所定の用紙に、学校長が証明し厳封したもの。 ただし、出願資格①、③により出願する者は、次の証明書も併せて提出すること。 ・出願資格①により出願する者で、高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書も併せて提出すること。 ・出願資格③により出願する者は、次の証明書も併せて提出すること。 (1) 専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が1700時間以上の専門課程を修了したことを証明する証明書 (2) 専修学校の専門課程の学科の分野や、履修内容が確認できる書類
自己申告書	本校所定の用紙に、実務経験その他を記入したもの。
出願承認書	本校所定の用紙に、勤務先の所属長等が作成したもの。（企業等に在職のまま入学を希望する場合のみ。）
検 定 料	16,500 円〔納入期間：令和3年2月12日(金)～令和3年3月1日(月)〕 本校所定の「入学検定料振込依頼書」により銀行等に振込み、銀行等から受け取った「入学検定料領収書・受付証明書」を「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に貼り付けて提出すること。
そ の 他	現に日本国内に在住する外国人は、市区町村長が発行する「外国人登録済証明書」又は「在留カード（写し）」を提出すること。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ④ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑤ 受験票が3月5日（金）までに届かない場合は、本校学生課入試・キャリア支援係へ問い合わせてください。

5. 選抜の方法

入学者の選抜は、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）、学校長から提出された調査書及び自己申告書の内容等を総合して行います。

- (1) 試験の日時 令和3年3月11日（木） 午前9時から
(注) 午前8時30分までに本校の指定する場所に集合してください。
- (2) 試験の内容 面接（口頭試問を含む。）の出題範囲は下表のとおり。

志望コース	出題範囲	
機械システムデザインコース	材料力学、熱力学、水力学、機械材料学	
電気情報システム工学コース	電気回路、電子回路、電磁気学、情報工学（C言語、デジタル回路）	
マテリアル・バイオ工学コース	無機化学、有機化学、物理化学、生物化学	
環境都市・建築デザインコース ((A)、(B)のいずれかを選択すること)	(A)	構造力学、水理学、地盤工学
	(B)	建築計画、建築構造

(3) 試験の場所 八戸工業高等専門学校

6. 合格者の発表

令和3年3月17日（水）午後3時に、受験番号を本校に掲示するとともにホームページに掲載します。

なお、合格者には文書で通知します。（電話等による問い合わせには応じられません。）

7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を令和3年3月24日（水）午後5時必着で八戸工業高等専門学校学生課入試・キャリア支援係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

8. 入学手続等

入学手続等については、「合格通知」と一緒に通知します。

9. 学士の学位について

大学改革支援・学位授与機構に申請して審査に合格することにより、専攻科終了時に学士の学位を取得することができますが、専攻科入学前の最終教育機関や科目の履修状況によっては、学位授与申請ができない場合があります。

学位取得の要件は大学改革支援・学位授与機構のホームページに掲載されておりますので、確認のうえ出願してください。

10. 身体等に障害を有する入学志願者の事前連絡

難聴者、弱視者、その他身体の不自由な者等で、受験上及び修学上特に配慮する必要がある者については、あらかじめ本校学生課入試・キャリア支援係に直接その事情を連絡し、別に、次の事項を記入した「身体等の状況の記録」を作成し、医療機関が発行した健康診断書など、「身体等の状況の記録」に記載した内容を証明する書類を添付して提出してください。

(ア) できるだけ詳細な身体等の状況

(イ) 受験に当たって配慮してほしい措置

(ウ) 入学後、本校において特に配慮する必要がある措置又は指導上留意すべき事項

提出の時期 令和3年2月12日（金）まで

連 絡 先 八戸工業高等専門学校 学生課入試・キャリア支援係 T E L （0178）27-7233

11. 個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報、及び選抜に用いた試験成績・評価といった、入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

12. 入学時に要する経費（予定）

- (1) 入学料 84,600円
- (2) 授業料前期分 117,300円（年額234,600円）

※上記の額は改定される場合があります。

13. 入学料・授業料の免除等及び奨学金制度

(1) 入学料の免除等

入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の被災により、入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ入学料を免除（全額又は半額）する制度があります。

また、上記の理由に加え、経済的理由で入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合には、入学料の徴収を一時的に猶予する制度もあります。

(2) 授業料の免除

経済的理由又は風水害等の災害により、授業料の納付が困難であり、かつ、学業・人物共に優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき、選考のうえ授業料を免除（全額又は半額）する制度があります。

(3) 奨学金制度

① 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構の規定に基づき、学業・人物ともに優れ、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められる者に対して、本人の申請に基づき、選考のうえ奨学金が貸与される制度があります。

【貸与月額】（令和2年度現在）

第一種奨学金		第二種奨学金（有利子）
自宅通学	自宅外通学	自宅・自宅外通学共通
45,000円	51,000円	20,000円から120,000円 のうち1万円単位で選択
30,000円	40,000円	
20,000円	30,000円	
	20,000円	

※ 複数の金額が設定されている場合は、いずれかを選択できます。自宅外通学の場合は、自宅通学の月額も選択できます。

※ 申込時の家計収入が一定額以上の場合は、各区分の最高月額以外の月額から選択することになります。

奨学金制度の詳細については、日本学生支援機構のHPをご確認ください。

② 八戸工業高等専門学校奨学金

本校では、経済的理由により就学困難であって、人物に優れ、学業に精励している学生に、奨学金として250,000円（特別奨学生は300,000円）までを給付する制度があります。

③ その他の奨学制度

八戸市、青森市等の地方公共団体、各種民間団体、あしなが育英会、交通遺児育英会等の奨学制度があります。

ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】（修了認定方針）

専攻科では、以下に示す能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して修了を認定します。

DP 1. 地球環境と科学技術の重要性

豊かな教養を基盤とし、学際的な視野を有し、地球環境と社会における科学・技術の重要性を理解できる。

DP 2. 産業発展への寄与

数学、物理、化学等の基礎知識、及び技術者としての高い倫理観を身につけ、広く産業の発展に寄与できる。

DP 3. 専門分野・他分野の知識・技術と応用力

得意とする専門分野の知識と技術、及び他の専門分野の応用知識を身につけ、課題解決に応用できる。

DP 4. 地域課題への関心と課題解決能力

地域課題に関心を持ち、自らが課題設定・解決能力を有し貢献することができる。

DP 5. 異文化理解と討議・発表力・英語基礎力

国際的な学術研究や異文化を理解する姿勢、及び討議・発表力と英語基礎力を身につけて特別研究等の各種発表等で活用できる。

【カリキュラム・ポリシー】（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーに掲げた人材を育成するため、一般科目、専攻共通科目そして専攻専門科目の3種類を設定して高度な知識を体系的に身につけられるカリキュラムを編成します。学修の成果は、試験や課題レポートなど、各科目のシラバスに記載された評価方法により評価します。具体的なカリキュラム編成方針は以下のとおりです。

CP 1. 学際的な視野と技術者としての素養を身につけるため、情報工学、環境エネルギー工学、人文社会科学要論などの科目を開講する。

CP 2. 横断的な共通知識の深化と技術者としての高い倫理観を身につけるため、応用数学、物理学要論、化学要論、技術者倫理などの科目を開講する。

CP 3. 得意とする専門分野の知識と技術を深化させるため、応用科目の講義と実験などの体験的授業を組み合わせたカリキュラムを編成する。また、課題設定・解決能力を育成するため、特別研究を実施する。

CP 4. 地域の課題に関心を深めるためにエンジニアリングデザイン、学外研修などの科目を設け、履修を奨励する。

CP 5. 国際的な発表・討議力・異文化理解力を身につけるために総合英語などの科目を開講するとともに、最大半年間の海外研修などの機会を設ける。またそれらを活用できる能力を身につけるため、特別研究の発表会では英語発表を行う。

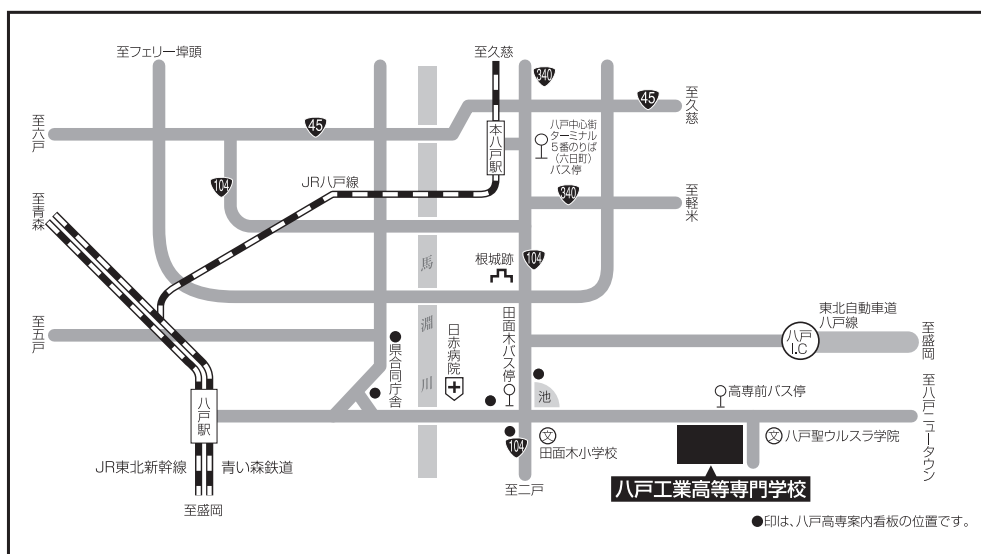
試験場案内

★ 八戸駅から高専まで（東北新幹線八戸駅から高専まで2.8km）

- タクシー（約5分）
- 南部バス（約10分）
 - ・八戸ニュータウン・聖ウルスラ学院線（八戸ニュータウン行）高専前下車
 - ・八戸駅・聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス／市営バス共同運行
 - ・八戸駅線（司法センター前・田面木・日赤病院経由）（中心街方面行）田面木下車（徒歩10分）

★ 八戸市内六日町から高専まで（JR八戸線 本八戸駅から高専まで約5km）

- タクシー（約20分）
- 市営バス（約30分）
 - ・八戸駅（司法センター・日赤病院経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・八戸聖ウルスラ学院線（聖ウルスラ学院行）高専前下車
- 南部バス（約30分）
 - ・八戸駅線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・一日市線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）
 - ・三戸方面線（司法センター・田面木経由）田面木下車（徒歩10分）



令和3年度八戸工業高等専門学校 専攻科

入 学 願 書

選 抜 区 分	(社会人特別選抜)		
志 望 コ ー ス	コ ー ス	受験番号	※
* 受 験 科 目	(A) ・ (B)		
ふりがな			生 年 月 日
氏 名	男 女	平成 昭和	年 月 日 生
ふりがな			
現 住 所	〒 電話		
出 願 資 格	高等専門学校 学科・コース 短期大学 科 専修学校 科 昭和・平成・令和 年 月 日 卒業・卒業見込み・修了・修了見込み		
学 歴 ・ 職 歴	昭和・平成 年 月 日		立 中学校 卒業
	自 昭和・平成・令和 年 月 日		
	至 昭和・平成・令和 年 月 日		
	自 昭和・平成・令和 年 月 日		
	至 昭和・平成・令和 年 月 日		
	自 昭和・平成・令和 年 月 日		
	至 昭和・平成・令和 年 月 日		
	自 昭和・平成・令和 年 月 日		

記入上の注意

- 1 選抜区分欄は、該当の事項を○で囲む。
- 2 受験科目欄は、環境都市・建築デザインコースを志望する者のみ記入すること。
- 3 受験番号欄は記入しないこと。
- 4 学歴及び職歴欄は、中学校卒業から記入すること。

令和3年度入学者選抜試験
入学志願者写真票

八戸工業高等専門学校専攻科

選抜区分	(社会人特別選抜)		
志望コース		受験番号	
コース		※	
ふりがな			
氏名	平成 年 月 日生		
性別	男 ・ 女		
写真貼付 正面上半身脱帽のこと。 縦6cm×横4.5cm判 出願前3か月以内に撮影したもの。 写真の裏に氏名を明記してください。 全体を糊付けしてください。			

注意
※印欄は記入しないでください。
該当事項を○で囲んでください。

(切りはなさないでください)

令和3年度入学者選抜試験
受験票

八戸工業高等専門学校専攻科

選抜区分	(社会人特別選抜)		
志望コース	コース	受験番号	
受験科目	(A) ・ (B) 環境都市・建築デザインコースを志望する者のみ記入すること。	※	
ふりがな			
氏名	平成 年 月 日生		
性別	男 ・ 女		
選抜日時 令和3年3月11日(木) 午前9時			
本票は、受験の際必ず携行すること。			

注意
※印欄は記入しないでください。
該当事項を○で囲んでください。

令和3年度八戸工業高等専門学校 専攻科

調 査 書

志望コース	コース		受験番号	※	
ふりがな		学 校	国 立	高等専門学校	
氏 名		・ 学科等名	公 立 私 立	学科・コース	
生年月日	平成 昭和	年 月 日生	平成 昭和	年 月 日	入学・編入学・転入学
性 別	男 ・ 女		令和 平成 昭和	年 月 日	卒業・卒業見込み 修了・修了見込み
成 績 証 明 書	出身学校所定の用紙を使用し、当該学校長が作成したものを添付の上厳封すること。 修得単位数が明記されているもの。 (成績の評価を評語で記入の場合は評点基準を明示すること。)				
学科(コース)内席次	1 年	人 中 位	評 語 の 評 点 基 準		
	2 年	人 中 位	優	A	1 0 0 点 ～ 8 0 点
	3 年	人 中 位	良	B	7 9 点 ～ 7 0 点
	4 年	人 中 位	可	C	6 9 点 ～ 6 0 点
	5 年	人 中 位	不可	D	5 9 点 ～ 3 0 点
在 学 中 の 状 況					
	TOEIC (L&R Test) スコア	公開テスト ・ I P テ ス ト (いずれかに○印をつける。)			
	スコア 点 受験日 (平成・令和 年 月 日)				
その他の英語に関する資格					
上記のとおり相違ないことを証明する。					
令和 年 月 日					
学校名					
校長・学長名					
印					

記入上の注意

- ※印欄は記入しないこと。
- 在学中の状況欄は、人物・課外活動・取得資格・生活態度等を記入すること。

自己申告書

志望コース：	氏名	※ 受験番号
1. 入学を志望する理由（専門分野への興味、将来への抱負等）		
2. 実務経験について（期間、職務の内容・取り組み方法・実績等について、具体的事実を示して記入してください。）		
(紙面不足の場合は、裏面へ続けて)		
3. 自己PR		

記入上の注意

- 1 記入にあたっては、黒色インク又は黒色ボールペンを用い、楷書でていねいに書いてください。
- 2 ※印欄は記入しないこと。

受験番号

※

出 願 承 認 書

令和 年 月 日

八戸工業高等専門学校長 殿

所 在 地

企 業 等 名

企業等の長

印

下記の者が、貴校専攻科入学試験に出願することを承認いたします。
なお、合格した場合には貴校に在学することを承認いたします。

記

氏 名

生年月日

所属部課

記入上の注意

※印欄は、記入しないでください。

令和3年度入学者選抜試験

入学検定料領収書・受付証明書貼付票

八戸工業高等専門学校

種 類	コ ー ス 名	氏 名
専攻科	コース	

- ※ 銀行の出納印のあるC票「入学検定料領収書・受付証明書」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。
- ※ ゆうちょ銀行からの振込の場合は、「振込依頼書（お客さま控）」の裏面にのりをつけて貼り付けてください。

入学検定料の納入について

◎入学検定料をゆうちょ銀行から振り込む場合は、別紙の「入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご参照ください。

◎入学検定料をゆうちょ銀行以外の銀行等から振り込む場合は、次のようにお願いします。

1. 入学検定料は、必ず下記の本校指定の「入学検定料振込依頼書」をご利用ください。なお、振込の際は別途手数料が必要となります。
2. 入学検定料の振り込みは、下記振込用紙のA票・B票・C票の「志願者」欄を記入のうえ、銀行等（ゆうちょ銀行を除く。）の窓口にて振込み願います。ただし、ATMからの振込はしないでください。
3. C票の「入学検定料領収書・受付証明書」は、「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。
4. 納入期間〔社会人特別選抜〕令和3年2月12日(金)～令和3年3月1日(月)まで

本件に関する問い合わせ先：総務課財務係 TEL 0178-27-7228

A 票

入学検定料振込依頼書

八戸工業高等専門学校

ご依頼日		令和 年 月 日		電信扱	
振込先	青森銀行 八戸支店	預金種目	普通	口座番号	2005038
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ			
	氏名	高専機構本部			
志願者	フリガナ				
	氏名				
	住所	(〒 -) (TEL - -)			

出納印

B 票

入学検定料振込通知書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先	青森銀行八戸支店		
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
	住所	(〒 -) (TEL - -)	

出納印

C 票

入学検定料領収書・受付証明書

八戸工業高等専門学校

依頼日		令和 年 月 日	
入学検定料		¥ 1 6 5 0 0	
振込先	青森銀行八戸支店		
受取人	フリガナ	コウセンキコウホンブ	
	氏名	高専機構本部	
志願者	フリガナ		
	氏名		
	住所	(〒 -) (TEL - -)	

振込手数料				円
-------	--	--	--	---

出納印

※ 取扱金融機関へのお願い

1. 当日中に取扱いくさるようお願いいたします。
2. 出納印は、A・B・C票への3カ所にもれなく押印してください。
3. B票は、取りまとめ店を経由して八戸工業高等専門学校へ通知願います。
4. C票は、必ず志願者(振込人)にお返してください。

(取扱店保管)

(取扱店→取りまとめ店(青森銀行八戸支店)→八戸高専)

(入学検定料受付証明書貼付用)

入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、**現金による振込はできません**。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（お客さま控）」を受領してください。
- 4) 「振込依頼書（お客さま控）」は「入学検定料領収書・受付証明書貼付票」に添付のうえ、願書受付期間内に本校に提出してください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034		振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い]				「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛					
※太枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※ ☐ 枠欄は、該当の項目にレ印をつけてください。											
▲ 総合口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。											
ご依頼日		年		月		日		※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。			
金融機関名		☐ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他		支店名		支店					
お受取人	預金種目	☐ 1 普通(貯合) ☐ 2 当座 ☐ 4 貯蓄 ☐ 9 その他 ()		口座番号			金額	十 萬 千 百 十 円			
	フリガナ					※金額の額部に「円」をご記入ください。					
おなまえ					振込金額		5万円未満		5万円以上		
					料金(消費税込)		648円		864円		
様											
おところ		郵便番号 (-)									
フリガナ											
おなまえ										様	
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号			通知番号							
払出口座番号		記号		番号(左詰めでご記入ください)							
払出口座名義人(代理人)		おところ		郵便番号 (-)		※口座名義人がご依頼人の場合、ご記入は不要です。					
おなまえ										様	
科目		取扱年月日		取扱時間		受払摘要					
請求種別		取扱店番号		処理通番		代行店番号					
				振込先							
				お受取人おなまえ						様	
				払出口座名義人						様	
				ご住所							
振込金額		円		振込料金		円(消費税等を含む。)					
合計金額		円		払出明細番号							
<取扱店使用欄>											
電	電話なし: 1	☐	本・代・使 ()	本・代・法 ()	備	機	印	引	付		
カ	連絡照会: 2	☐	確認 ()	任・顧 ()	用	意	照	取	付		
ド	カード: 3	☐									
(1枚目) OCR用										ゆうちょ銀行	
(取扱郵便局、取扱店→受付貯金事務センター)										〒646000(27-1F)	